

12. 産婦人科実績

産婦人科 吉田 望

2010年度 手術件数 171件

2010年度 分娩件数 209件

	平成22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月	3月	総数
帝王切開術	8	5	5	9	3	2	4	4	4	6	5	4	59
腹式子宮全摘術(良性)	1	0	1	2	3	0	3	2	1	0	1	0	14
腹式子宮全摘術(悪性)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
腹式子宮筋腫核出術	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
腔式子宮全摘術	2	1	2	2	1	1	2	0	0	3	0	1	15
円錐切除術	0	0	1	2	3	0	0	3	1	2	0	4	16
卵巣腫瘍(良性)	2	1	3	0	2	0	0	1	1	0	2	0	12
卵巣腫瘍(悪性)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
腹腔鏡下手術	0	1	1	2	0	1	3	1	1	0	0	2	12
子宮鏡下手術	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
子宮内容掻爬術	0	2	2	1	1	2	2	5	5	0	2	2	24
その他	1	0	1	2	0	1	0	1	0	0	1	0	7

分娩件数の減少に伴い、帝王切開件数が減少した。帝王切開率は28.2%で例年と変わらない。ITPや糖尿病を合併しているハイリスク妊婦の増加がみられる。

若年者の円錐切除術件数がこの数年で急増している。検診が広まり早期発見される件数の増加もあるが、子宮頸癌自体も増加している。HPVワクチン接種による1次予防および検診による2次予防のさらなる周知が望まれる。